

# イ 授業の実際

## 指導計画

- 1 題材名 家庭基礎「消費生活と環境」  
学習指導要領 内容(2) 生活の自立及び消費と環境 イ、オ

### 2 題材について

グローバル化、高度情報化の進展等により消費者をめぐる状況は多様化・複雑化し、地域・家族のつながりが弱まるなか、消費者被害も多様化・深刻化している。また、消費者被害だけではなく、大量生産・大量消費・大量廃棄による、様々な環境問題も生じている。経済の発展や便利で快適な生活を優先させた結果である。このような状況を受け、「消費者教育推進法」が成立するなど、自立した消費者の育成が喫緊の課題となっており、学校教育が担う消費者教育の役割は大きいといえる。

高等学校家庭科では、社会において主体的に生きる消費者を育む視点から、消費の在り方及び資源や環境に配慮したライフスタイルの確立を目指す指導を充実することや、生活と経済に関わる内容、持続可能な社会の構築を目指したライフスタイルを確立するために必要な内容の充実が図られた。特に「家庭基礎」の内容(2)「生活の自立及び消費と環境」では、生涯にわたる生活経済や多重債務等の深刻な消費者問題、衣食住生活と環境との関わりなどを科学的に理解させるとともに、社会の一員として生活を創造する意思決定能力を習得することを明確にしている。

高校生の段階は、自らの意志による消費行動が増えてくる時期であるが、適切な意思決定に基づいた消費を行っているとは言い難い。消費者被害に遭わないための対処法などを学ぶことも大切であるが、消費行動の背景にあるものを考慮して選択をする消費者市民としての意思決定能力を身に付けることが重要であると考え、本題材を設定した。

指導にあたっては、衣服の購入場面を設定し、消費生活の現状と課題について身近な問題として理解させる。また、ESDの視点を取り入れた学習指導を展開することで、持続可能な社会の実現に向けて、自らの行動を見直し、環境負荷の少ない生活の工夫について考え、適切な意思決定に基づいた行動ができる力を身に付けさせたい。

### 3 題材の目標

消費行動と社会や環境との関係について考え、持続可能な社会づくりを目指して、資源や環境に配慮した生活が営めるようにライフスタイルを工夫し、主体的に行動できるようにする。

### 4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
自分の消費生活を振り返り、持続可能な社会を目指して、自分たちができることに関心をもって、取り組もうとしている。	持続可能な社会づくりを目指して、消費行動における課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、消費者市民として適切な意思決定ができる。	適切な意思決定を行い、相手に伝わるように情報を整理することができる。	経済発展や大量生産・大量消費・大量廃棄の生活により、様々な問題が生じていることを知り、持続可能な社会を目指すことの重要性について理解している。

5 指導と評価の計画（全3時間）

- ① 消費者市民として適切な意思決定をしよう 2時間
- ② 持続可能な社会の構築に向けて 1時間 [表1をクリックすれば表1が開きます。↓](#)

	【ねらい】・◆学習活動	評価の観点				評価規準・評価方法	育てたい多面的・多角的な見方 (表1参照)
		関	思	技	知		
	<b>1・2時目</b>						
	<b>消費者市民として適切な意思決定をしよう</b> <b>【ねらい】</b> 自らの消費行動が社会や環境にどのような影響を与えているかを理解し、持続可能な社会づくりを目指して、適切な意思決定ができる。						
① 2時間	◆ものを選ぶ際に必要な情報を収集し、相手に伝わるように整理する。  ◆消費生活と環境との関わりを科学的に理解することで、ものを選ぶ際の新しい視点に気付き、持続可能な社会づくりを目指して思考を深め、消費者市民として適切な意思決定をする。			●	◇ものを選ぶ際に必要となる視点を適切に判断し、相手に伝わるように情報を整理することができる。  ◇持続可能な社会づくりを目指して、消費行動における課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、消費者市民として適切な意思決定ができる。	A-1 A-2 A-4 B-1 C-1 C-2 C-4 D-1 D-2	
	<b>3時目</b>						
	<b>持続可能な社会の構築に向けて</b> <b>【ねらい】</b> 持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷の少ない消費生活に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。						
② 1時間	◆エシカル消費という視点から、持続可能な衣生活のために、環境や社会に配慮した消費行動が必要なことを知る。  ◆自分の消費生活を振り返り、持続可能な社会を目指して、自分ができることを考えようとしている。			●	◇世界で起きている様々な問題が、身近な消費行動と結びついており、環境や社会に配慮した消費行動が必要であることを理解している。  ◇自分の消費生活を振り返り、持続可能な社会を目指して、自分たちができることに興味をもって、取り組もうとしている。	A-3 B-1 B-2 B-3 C-3 D-2 D-3	

↑ 青い文字をクリックすれば、授業実践が開きます。

6 観点別評価の進め方

- ① 関心・意欲・態度  
これまでの自分の消費生活を振り返るとともに、持続可能な社会を目指して、課題を解決していこうとする態度を評価する。
- ② 思考・判断・表現  
協働学習を通して、ものを選択する際の視点の広がり気付けるとともに、再度、同じものを購入する場面を設定することで、どのように考えが深まり、意思決定を行ったかを評価する。
- ③ 技能  
資料等から情報を収集・整理し、相手に分かりやすく伝える技術の評価する。
- ④ 知識・理解  
世界で起きている様々な問題が、身近な消費行動と結び付いており、環境や社会に配慮した消費行動が必要であることを理解しているかについて評価する。